

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら若松花野路教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の連携のもと、支援の統一を図り、保護者や子ども達のニーズに合った支援の提供を行なっている。	定期的な会議の時に、それぞれのこどもについて支援プログラムの再確認を行うばを設けている。	定期的に、勉強会を開催し、職員1人1人のスキルアップを行なえるようにしていきたいです。
2	戸外活動を通して公共機関を使う練習を行ない、公共におけるマナーやルールを身に付ける練習を行なっている。	場面の切り替えやルールが守れない場合は職員がマンツーマンで対応しクールダウンを行えるように工夫している。	毎週土曜日に、屋外活動を実施しており屋外に出る前に事前にルールの確認を行うようにしていく。
3	朝礼、終礼でこどもの情報の共有を行ない、統一した支援を図るように共通の認識を行うようにしている。	シフトのため、時間の調整がつかない場合は時間を作り、情報共有を行なっている。	情報提供が分かるようにツールを使って分かりやすくしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との地域交流がすくない。	コロナウイルスも落ち着いてきたので少しずつ交流を行なっていきたい。	地域の文化祭、清掃活動への参加、またこぼんの他教室とのイベントの開催など、小さな活動から取り組んでいく。
2	親同士の交流がなく、保護者との情報交換する場がない。	コロナウイルスも落ち着いてきたので少しずつだが保護者会を開催していきたい。	年に1, 2回、保護者の親睦会を開き、職員と保護者のつながりや、親同士のつながりをより深いものにしていく。
3	放課後の児童活動時間が短く宿題の時間や活動の時間の短い。	充実した活動をもっと考えて支援していく。	児童の利用日の調整を行ない、集団での活動の支援を充実できるように考えていく。